



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻
第2号) 編集後記・編集委員・購読
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第26巻第2号) 編集後記・編集委員・購読要
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1980, 26(2): 252-252

ISSUE DATE:

1980-02

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122583>

RIGHT:

泌 尿 器 科 紀 要

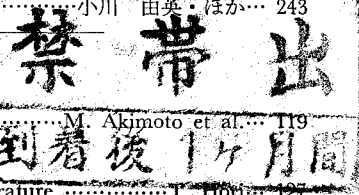
第 26 巻 第 2 号

1980年2月

ヌードマウス可移植性ヒト泌尿生殖器腫瘍の胸腺摘出, ATS 処理ハムスターへの移植 (英文).....秋元 成太・ほか	119
腎臓移植の研究 VI Perfluorochemical emulsion を用いた室温下腎灌流保存の実験的研究.....堀 建夫	127
包茎患者における心身医学的研究 —特にインポテンスとの関連について—.....大山 武司・ほか	137
放射線透過性上部尿路結石に関する臨床統計的観察.....濃沼 信夫	145
膀胱腫瘍の研究: 第2報 膀胱腫瘍の化学療法, 特に抗癌剤の膀胱内注入療法の検討.....瀬川 昭夫・ほか	155
骨および肺に血行性転移をきたした陰茎癌症例 (昭和45年より53年までの陰茎癌症例26例の臨床統計的観察).....大西 哲郎・ほか	167
難治性膀胱出血に対する両側内腸骨動脈分枝の選択的塞栓術.....田中 陽一・ほか	179
腎外傷後の腎結石: 体外腎手術による治験例.....小野 佳成・ほか	187
腎悪性絨毛上皮腫の1例.....船井 勝七・ほか	195
下大静脈後尿管の1例.....剣木 文隆・ほか	201
SLE に合併した萎縮膀胱の1例.....片岡喜代徳・ほか	209
前立腺肥大症における TSAA-291 の治療成績 —超音波計測による前立腺の縮小効果を中心として(第2報)—.....澤村 良勝・ほか	215
KES-504 による前立腺癌の治療成績.....岩動孝一郎・ほか	223
キロサイド膀胱内注入による膀胱腫瘍の再発防止効果.....徳永 毅・ほか	229
泌尿器科領域におけるブラダロン錠の使用経験.....三品 輝男・ほか	239
膀胱不定愁訴に対する Flavoxate hydrochloride 錠の効果.....小川 由英・ほか	243

CONTENTS

Heterotransplantation of Transplantable Human Urogenital Malignant Neoplasms to Thymectomized Antithymocyte Serum Treated Neonatal Hamsters.....M. Akinoto et al.	119
Study on Renal Transplantation VI Experimental Study on Kidney Preservation by Perfusion with Perfluorochemical Emulsion at Room Temperature.....T. Honi	127
Psychosomatic Research of Phimosis Patients.....T. Ohyama et al.	137
Statistical Study on Radio-Transparent Calculi of the Upper Urinary Tract.....N. Koinuma	145
Clinical Study on Tumor of the Bladder Report 2; Effect of Intravesical Instillation of Antitumor Agent for the Treatment of Tumor of the Bladder.....A. Segawa et al.	155
Heterogeneous Metastases from the Penile Cancer to the Bone and the Lungs (26 Cases of Clinicostatistical Study from 1969 to 1978).....T. Ohnishi et al.	167
Transcatheter Embolization of Hypogastric Branch Arteries in the Management of Intractable Bladder Hemorrhage.....Y. Tanaka et al.	179
A Case with Multiple Renal Calculi as Late Complication of Renal Injury Treatment by Ex Vivo Surgery and Autotransplantation.....Y. Ono et al.	187
Malignant Chorionepithelioma in the Kidney: Report of a Case.....K. Funai et al.	195
A Case of Retrocaval Ureter.....F. Kennoki et al.	201
Contracted Bladder in a Patient with Systemic Lupus Erythematosus: Report of a Case.....K. Kataoka et al.	209
Clinical Studies on TSAA-291 in the Treatment of Benign Prostatic Hypertrophy (the Second Report), A Transrectal Ultrasonotomographic Study of Reduction Effect on the Prostatic Weight.....Y. Sawamura et al.	215
Clinical and Endocrine Effects of Estracyt (Estramustine Phosphate) in Advanced Prostatic Cancer.....K. Isurugi et al.	223
Effects of Intravesical Instillation of Cycloide on the Recurrence Rate of Bladder Tumors.....T. Tokunaga et al.	229
Clinical Evaluation of Bladderon Tablet in Urology.....T. Mishina et al.	239
Flavoxate in the Treatment of Irritative Bladder Symptoms.....Y. Ogawa et al.	243



Editor: Prof. Osamu YOSHIDA, M.D.

Department of Urology, Faculty of Medicine,
Kyoto University, Kyoto Japan 606.
京都大学医学部泌尿器科学教室

泌尿紀要

Acta Urol.

編 集 後 記

(7)

「足を引っぱる。」——いやな言葉である。しかし厳正な批判をされたものを「足を引っぱられた。」と思わないようにしなければならない。「足を引っぱる。」とは、正当な理由もなく、単なる個人的打算や感情で、妨げる、邪魔をする、かげ口をいう——これをいうのである。

学問の世界では厳しく批判し合い、各々が自分を高めるようにしなければならないが、共通の目的にむかっては自己の立場や利害得失を越えて協力しなければならない。これは簡単で当然のことのように思われるが、実践するのはさほど容易ではない。しかしこのルールを守られている社会は、集団は大きく前進し、立派な成果をあげている。

この点に関しては、アメリカの学会や研究グループに学ばなければならない所が多い。(O. Y.)

編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 晋 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

購 読 要 項

1. 発行は原則として毎月とし、年間購読者を会員とします。
2. 会員は年間予約購読料と 5,000 円 (送料とも) 前納していただきます。
分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。
3. 入会は氏名 (フリガナ)、住所 (雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は綜説、原著、臨床報告、その他、和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は 400 字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けます。
4. 英文原稿の場合はタイプでダブルスペース打とし、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, PH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。
A 雑誌の場合 著者名：誌名、巻数：頁数、西暦年次。(論文題名は自由です)
文献名は正式略称を用いてください。
例：日泌尿会誌、臨床皮泌、皮と泌、泌尿紀要、臨泌；J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。
B 単行本の場合 著者氏名：書名、版数、Vol. 数、p. 数、発行所、出版地、年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第26巻 第2号 1980年2月25日 印刷 1980年2月29日 発行
創刊 稲 田 務 顧問 加 藤 篤 二 定価 500 円 (送料別)

発行 吉 田 修 発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町54 京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)
印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入